

親子で干潟の生き物を観察

松川浦自然教室



り返し、カニやエビなどを捕まえていました。

また、観察を通し、どのような生き物がこの干潟に生息しているのかなどの説明が行われ、子どもたちは熱心に話を聞いていました。



松川浦自然教室現地観察会は8月18日、松川浦で開催され、市内外から約30人の親子が参加しました。

本教室は、子どもたちに松川浦の自然や文化に触れてもらいながら、自然環境保全の大切さを知ってもらうことなどを目的に開催され、NPO法人松川浦ふれあいサポートの主催。

観察会は松川浦鵜ノ尾埼灯台付近の干潟で行われ、参加した子どもたちは、講師の鈴木孝男みちのくベントス研究所所長からアドバイスを受けながら、楽しそうに干潟を掘



取れたてのナシが届きました

JAふくしま未来

本年度の収穫が始まり、取れたてのナシが8月27日、立谷市長に贈られました。

本市での農業振興や販路拡大を目的に訪れたのは、濱田賢次JAふくしま未来代表理事専務、山田秀晴そうま地区役員代表ら5人。

濱田代表理事専務が立谷市長にナシを贈呈し、立谷市長は早速受け取ったナシをおいしそうに頬張っていました。ナシの出荷は8月19日から始まっており、幸水のほか豊



水や新高などの品種のナシが出荷されています。

認知症を予防

げんき応援教室「今日からは始める認知症予防」は9月1日、磯部公民館で開かれ、磯部地区に住む12人が受講しました。

市社会福祉協議会は、地域での教室開催のほか介護保険・介護予防、生活相談、権利擁護・消費者被害、高齢者の見守りなどに取り組んでいます。

当日は認知症に関する講演が行われ、参加者は認知症への理解を深めるとともに、簡

げんき応援教室

単に取り組める予防方法を学びました。

米などを贈呈
市玉ノ井部屋後援会

市玉ノ井部屋後援会などによる大相撲玉ノ井部屋への物資贈呈式は8月19日、松川浦スポーツセンター相撲道場で行われ、志賀駿男先代親方や玉ノ井部屋相馬市後援会などの関係者約10人が出席しました。

同後援会は、大相撲玉ノ井部屋の夏合宿が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったことから、総会を開催して支援物資を贈呈することを決定。

当日は、立谷一郎同後援会会長から志賀先代親方に相馬産の米やノリなどの特産品支援金が贈られました。

独創的なアイデアをたたえる 市発明展表彰式



第 53 回市発明展の表彰式は 9 月 9 日、市役所で行われ、入賞者が出席しました。

今回の発明展には、115 点の応募があり、日常生活で有益か、努力の跡が見えるかなどが審査され、市長賞など 17 点が選ばれました。表彰式では入賞者一人一人に賞状と記念品が手渡され、入賞した子どもたちをたたえました。

受賞した作品 17 点は、10 月 31 日から 11 月 1 日まで郡山市で開かれる第 66 回福島県発明展に出品されます。

【入賞者は以下のとおり】

- 相馬市長賞＝▽松本夢叶（八幡小 5 年）感染予防対策セット▽佐藤梨々杏（中一小 6 年）ヒヤットとなる簡易クーラー▽荒木優花（桜丘小 5 年）くるりんパツ！！
- 福島県発明協会会長賞＝▽山内心結（中一小 6 年）じょうろ with キリフキ
- 相馬市教育委員会教育長賞＝▽澁谷佑良（中一小 5 年）どこでも消毒▽石井大翔（桜丘小 1 年）ふくがおちないマグハン▽稲垣羽南（桜丘小 4 年）らくらくおんぶ
- 相馬商工会議所会頭賞＝▽平田奈々（桜丘小 2 年）かんたんきれいゆでたま Cutter▽高橋空人（飯豊小 5 年）朝ラクチン棚▽佐藤耀地（磯部小 5 年）最後分か～る針
- 福島民報社賞＝▽加藤瑠夏（大野小 5 年）タオル手まくら▽篠山朋希（中一小 5 年）たくさんエコバッグ▽伊東季沙（桜丘小 4 年）ずっと一緒♡洗濯機
- 福島民友新聞社賞＝▽高橋凜汰朗（中一小 6 年）ネックマスクホルダー▽澤田志歩（桜丘小 4 年）車の中がぬれない「Umbrella stand car」▽篠山侑希（中一中 1 年）家族みんなのマスク掛け
- 河北新報社賞＝▽篠山明希（中一中 2 年）簡単にめくれるクリップ
- 学校賞＝▽中村第一小学校▽中村第一中学校

発熱外来診察室の体制強化

9月1日から土・日曜日、祝日も診察

市は、4 月 8 日から設置している公立相馬総合病院敷地内の発熱外来診察室の体制を強化し、相馬郡医師会相馬支部の協力を得て、9 月 1 日より土・日曜日、祝日も診察を行うこととしました。

また、同日（9 月 1 日）より休日や祝日も医師の判断により抗原検査を行う抗原検査室を発熱外来診察内に設置。検査室は、感染対策として

オゾンによるウイルス・細菌対策ができる空気清浄機を設置しており、抗原検査は約 30 分で判定できます。

※発熱外来診察室の診察時間や受診方法などの詳細はホームページを確認ください。

ホームページ
はこちらから



読解力の向上を リーディングスキル講演会

リーディングスキルテスト講演会は 8 月 18 日、市民会館で開催され、市内小・中学校教員などの関係者約 300 人が参加しました。

人工知能 (AI) が東京大学合格を目指す「東ロボくん」プロジェクトリーダーの新井紀子国立情報学研究所教授を講師に迎え、「基礎的読解力は人生を左右する」と題した講演が行われました。



ハザードマップで災害を学ぶ 向陽中学校防災教室

向陽中学校の防災教室は9月1日、全校生徒306人を対象に行われました。

前半は、体育館で台風や豪雨の映像を視聴し、後半は各教室でハザードマップを見ながら、台風が近づいているときにはどんな対応や備えが必要かを学びました。

生徒たちは、ハザードマップで自宅や中学校の周りにどんな災害の危険があるのかを確認しながら話し合い、グループでまとめた意見を積極的に発表していました。



的に発表していました。

国勢調査2020

国勢調査2020の委嘱状伝達式は8月28日、市役所で行われ、関係者ら30人が参加しました。

調査員は全部で185人で、市内303地区に調査票の配布などを行います。

国勢調査は令和2年10月1日現在、日本国内に住んでいるすべての人と世帯を対象とする、国の最も重要な調査です。



委嘱状伝達式

そうまラボ稼働 グリーンエネルギー センター



株式会社IHIと市が連携して運営している「そうまIHIグリーンエネルギーセンター」内に、水素研究棟「そうまラボ」が開所し、9月10日に公開されました。

そうまラボは、そうまIHIグリーンエネルギーセンターの太陽光発電で生み出した余剰電力で生産した水素を活用して、実証実験や研究が行われます。

国内外の研究機関・企業と共同で行う水素関連研究の場（オープンイノベーション）や科学、エネルギーに関する体験学習の場の提供なども計画しています。

長年の功績をたたえる

全国市区選挙管理委員会連合会表彰

選挙管理委員会の長年の功績をたたえる全国市区選挙管理委員会連合会一般表彰の受賞報告は9月2日、市役所で行われ、田中孝治市選挙管理委員会委員長が訪れました。

同賞は7年以上、選挙管理委員として民主政治の確立と地方自治の興隆発展に寄与した功績に対し授与されるもの。田中委員長は立谷市長に受賞を報告し、「これからも民主主義の根幹である選挙へ、市民の参加を促していきたい

い」と今後への抱負を述べました。



県産食材をPR 復興庁風評被害払しょくイベント



復興庁風評被害払しょくイベント「常磐もので福島の今を体感 2020～釣れたヒラメでリモートクッキング!」は9月6日、東部公民館で行われ、立谷市長らが出席しました。

リモートクッキングの参加者は、事前に自宅などに送られた相馬沖産のヒラメなどを使って、講師が調理する映像をオンラインで見ながら同時に調理を行い、マリネやヒラメを使ったパスタを作りました。

災害時の食を学ぶ 防災給食



防災の日に合わせた防災給食は9月1日、市内の小・中学校の児童・生徒を対象に実施されました。

災害用の備蓄食料を実際に食べる体験を通して、日ごろの準備の大切さや食べ物への感謝の心を育むことを目的に、教育委員会の主催。

給食に使用された食品は、市防災備蓄倉庫に備蓄している非常用食料の主食と缶づめ。

当日、中村第二小学校では、給食の前に防災授業が行われ、児童らは災害時の食の備えの大切さなどを学んだ後、水を入れるだけでご飯ができるアルファ米やサバの缶詰を使った給食をおいしそうに食べていました。

佐藤和子同小学校校長は「防災教育の中に食育を含めて取り組みました。普段から防災への備えを心掛けるよう指導していきたい」と述べました。



想いの発信

「少年の主張」

受賞者表彰

「少年の主張」受賞者表彰は9月3日、市役所で行われ、3人の受賞者が出席しました。「少年の主張」は、中学生が日常生活で感じていることや考えていること、さまざまな経験を通して感銘を受けたことなどを自分自身の言葉で発表することで、多くの人々に中学生への理解や関心を深めてもらうことを狙いとし、今年で42回目。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、8月19日に録音音声による審査が行われ、最優秀賞に横山陽世さん（向陽中3年）、優秀賞に中島陽太さん（中一中3年）と石橋未夢さん（中二中3年）が選ばれました。福地憲司教育長は「例年と違い録音音声での発表ではあったが、皆さんの想いがとても伝わってきました。今回の経験を生かして今後の学校生活や人生において、自分をしっかりと主張できる、人間性豊かな人になってください」と受賞者をたたえました。



盛り上げよう、相馬の海 中学生ビーチバレー

2020ビーチバレーボール相馬は8月16日、尾浜ビーチバレーボール場で開催され、県内の中学生を対象に男女合わせて44チーム199人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で各種スポーツ大会が中止になるなどの影響を受けている中学生に活躍の場を提供することや、観光の復興につなげることを目的に開催。

試合は男女とも予選リーグを突破したチームが決勝トーナメントに進む形式で行われ、選手らはお互いに声を掛け合いながら、熱戦を繰り広げました。

寄付ありがとう くるくろ松クラブ



青年会議所のOBで構成される「くるくろ松クラブ」による寄付は9月14日、市役所で行われました。

訪れたのは、同クラブの齊藤邦彦会長ら6人で、寄付は、同クラブが主催したチャリティオークションの益金から行われたもの。

同クラブは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図り、子どもたちの学習環境整備のため寄付金を市教育委員会に贈りました。

寄付金を受け取った福地憲司教育長は「いただいた寄付金は子どもたちのために有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。